

D-TOKYO

大学図書館問題研究会東京支部報

<http://www.daitoken.com/tokyo/>

第 222 号 2014(平成 26)年 5 月発行

目次

| | |
|-----------------------|---|
| 1. 支部報再刊のお知らせ | 1 |
| 2. 支部委員会について | 1 |
| 3. 支部委員による自己紹介と抱負 | 2 |
| 4. 第 2 回支部総会のお知らせ | 4 |
| 5. 支部委員へのお誘い | 4 |
| 6. 支部例会のお知らせ | 5 |
| 7. 関東五支部合同例会のお知らせ | 5 |
| 8. 全国大会へのお誘い | 6 |
| 9. 第 1 回・第 2 回支部委員会記録 | 6 |
| 10. 支部メンバーリスト登録について | 8 |

支部報再刊のお知らせ

東京支部報『Tokyo 支部報』は、221 号(2011 年 7 月)を最後に休刊状態となっておりますが、このたび、『d-tokyo: 大学図書館問題研究会東京支部報』として、装いも新たに再刊することとなりました。支部会員のコミュニケーションやプレゼンテーションの場となるよう努めますので、ご投稿やご意見等、お待ちしております。

支部委員会について

2014 年 1 月 26 日に開催された 2013/2014 年度第 1 回支部総会において、下記 7 名が 2013/2014 年度の支部委員を務めさせていただくこととなりました。(以下、氏名の五十音順)。

上村 順一(うえむら じゅんいち, 東京海洋大学学術情報課)
小野 亘(おの わたる, 一橋大学附属図書館)
高池 宣彦(たかいけ のりひこ, 湘南工科大学)
呑海 沙織(どんかい さおり, 筑波大学図書館情報メディア系)
野村 健(のむら けん, 所属非公開希望)
松原 恵(まつばら めぐみ, 東京大学情報システム部)
米倉 和枝(よねくら かずえ, 東京大学法学部研究室図書室)

支部委員による自己紹介と抱負

◆上村順一(担当:組織・編集・研究企画)

皆さまはじめまして。今期より東京支部員をさせていただいております,東京海洋大学の上村順一と申します。こんにちは。

今期は組織担当ということで,支部報の送付や各種通知文書などの宛名の管理などをするようになっております。従いまして,皆さまと何かしらのやり取りをする機会も増えるかなと思っております。

大図研に入会したのは 2005 年だそうです。実は自分がいつ大図研に入ったのか,すっかり忘れていたのですが,組織担当になってようやく判明しました。まだまだ若輩者ですね。

わたくし,正直なことを申せば,今までは余り大図研そのものの活動に積極的に関わってきませんでした。関東五支部例会は言うに及ばず,全国大会もロクに参加したことがなく,ROM とは申しませんが,かなり怠惰な会員であったことは否めません。以前,東京支部委員のお誘いもいただいたのですが,何やかやと理由を並べてお断りしたこともございます。

もっとも,入会してからこのかた,大図研オープンカレッジ(DOC)の企画に携わってきました。企画の成功/失敗はともかく,わたくしとしては,大図研のためにちょっとだけ身を捧げてきましたつもりです。

どういう訳か,今期からは大いに身を捧げることになり,東京支部委員のほか,常任委員,山形で開催される,今年の全国大会実行副委員長という,ホントに大丈夫なの?と,自分自身でもよく分からないうちにいろんな任務を担当することになりました。

ともあれ,担当になったからには,皆さまにご迷惑をおかけしないよう尽力したいと思っております。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

◆小野亘(担当:財政・組織・広報)

一橋大学の小野亘と申します。だいぶ以前より支部委員をさせていただいておりましたが,力不足により,支部活動の停滞を招いてしまい申し訳ありません。

今回,支部の運営が新体制となりましたので,過去の業務の整理と引き継ぎを中心に微力ながら協力をさせていただきます。どうぞよろしくお願ひいたします。

◆高池宣彦(担当:副支部長)

私は湘南工科大学の職員で,社会人大学院生として,筑波大学大学院図書館情報メディア研究科にも在籍しております。研究関心は,大学評価,大学図書館経営です。

湘南工科大学は神奈川県藤沢市にあり,海まで 800m,江ノ島まで 5km の立地です。湘南工科大学では,「図書館ボランティア」という授業があり,学内での講義・実習を図書館員が担当した後,大学と提携を結んでいる公共図書館の自治体職員による短期実習を行っています。この授業は本学の学生,教職員,地域自治体がお互いに奉仕の精神を持って,地域の方々とつながりを持ち「自分」が社会で役に立つ人間である実感を持ってほしいという目的で始められました。「図書館ボランティア」については,会報「大学の図書館」2014 年 4 月号に掲載予定です。湘南工科大学附属図書館は,築 31 年で,ごんまりとした図書館ですが,見学をご希望の方はぜひお声掛け下さい。

私立大学を取り巻く状況は厳しく,大学内の一部門である図書館も危機的状況にあるといえます。私は大学図書館問題研究会に入会してからまだ日が浅いですが,私立大学職員,大学院生,大図研会員として,これらの問題について取り組んでいきます。また,2014 年 8 月に行われる私立大学図書館協会研究大会で,「Moodle 等の ICT ツールを活用した学習支援活動の研究」という助成研究(機関研究)の発表を行いますので,よろしくお願ひいたします。

◆呑海沙織(担当:研究企画・編集)

これまで京都支部に在籍しておりましたが、今年度より、東京支部に移籍いたしました。大図研の運営には入会初期から京都支部委員としてかかわらせていただき、委員長としては今期 3 年目になります。このたびは、新たに東京支部委員として活動させていただくことになり、身が引き締まる思いです。

東京支部委員としては、研究企画と支部報の編集を担当させていただくことになりました。支部例会や支部報が、情報入手の場であるばかりでなく、情報発信の場として機能するよう努めて参りたいと思いますので、一人でも多くのみなさまのご参画をお待ちしております。

◆野村健(担当:支部長)

この度、東京支部の支部長に就任致しました野村です。大図研の常任委員として会報編集や全国大会に関わっておりますので、名前を知って頂いている方も多いかと思いますが、この機会に改めてご挨拶申し上げます。

現在は大学図書館の業務委託スタッフという立場で、某大学図書館の閲覧担当として勤務致しております。大図研歴はそろそろ 20 年となります。と書いてみて、改めてそれだけの年月が経ったことに自分で驚きました。

さて、東京近辺は図書館関連のコミュニティやイベントが多数存在します。他者との「繋がり方」が変化していることも考えると、あえて身も蓋もない言い方をすれば、東京支部としての活動が無くとも情報収集や交流といった面では不自由しないのかもしれませんが。そういった状況の中、しばらく「お休み」状態が続いた東京支部としてはどのような活動をしていけばいいのか。漠然とした言い方になりますが、私としては「大図研らしさ」を出していくことで活動の活発化につなげられれば、と思っています。「大図研らしさ」とは、例えば「幅広い年代、立場の人とリアルに関わる」「活動にコミットするほど面白くなる」といったことだと思っているのですが、これは私自身の考えで、会員の皆さまも様々な期待感や思いを持っておられることでしょう。そういった期待感や思いを、会員相互の交流を通じてより深め、あるいは新しい一面を発見していただく機会が支部の例会や支部報だと思っています。これからは、一気呵成にというわけにはいきませんが、少しずつ活動の幅を広げるべく、皆様の積極的な参加・提言をお待ちしております。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

◆松原恵(担当:広報・研究企画・編集)

東京大学情報システム部の松原と申します。東京大学に勤務して 7 年目、総合図書館、工学・情報理工学図書館、文部科学省研究振興局情報課出向を経て、現在は機関リポジトリを担当しています。ご挨拶がわりに大図研との関わりについて思い出してみます。

2011 年の夏、NII の学術情報ポータル担当者研修の最後に、コーディネーターの岡本真さんから「大図研という会の全国大会が数日後に東京で開催されます!」とご紹介を受けました。NII の大向一輝先生も講師をされるとのこと、なんだか面白そう。分科会に参加してみようと少し緊張しながら北とぴあに向かったことを覚えています。分科会では、日本の図書館政策、電算化の歴史や CiNii に関する講演(大学図書館史/図書館システム)、Twitter や Facebook などを使った図書館サービスを考えるワークショップ(ソーシャルメディア)などに参加しました。それが大変面白かったことが、大図研の会員になるきっかけでした。

2012 年の全国大会(京都)では、大学図書館の職員がこのような大きな大会をすべて自らが企画し、運営していることに感動した記憶があります。シンポジウムや分科会を企画することは参加者に学びの機会を与えるというだけでなく自らにとっての大きな学びともなるでしょうし、分科会でプレゼンしたりワークショップに参加したりする、『大学の図書館』に執筆する、ということのみならず、大会などイベントを創り上げること自体、ひとつの「表現」なのだと感じました。そして、そのような機会が得られる大学図書館問題研究会という存在の意義深さを、帰りの新幹線でひっぱりだこ飯を喰らいながらしみじみ感じたものでした。

東京支部が、東京地区の大学図書館職員にとっての表現の場として有意義なものになるよう、ささやかではありますが尽力したいと存じます。どうぞよろしくお願い致します。

◆米倉和枝(担当:財政)

東京大学法学部研究室図書室に勤務しております米倉和枝と申します。かつて一時期東京支部委員を務めさせていただいたことがあります。もう35年も前のことです。当時20代前半の若輩者が、来年3月で定年を迎えます。時の流れのなんと早いことかと思わずにはおられません。えー、そんなに経ったの?と仰るあなたは大同研会員歴の長い方ですね。病気、出産、育児と長いこと大同研の活動から離れていましたが、6年前に事務局手伝いとして声をかけていただき、またこうして東京支部委員会の仕事をさせていただくことにもなりました。最近低迷していた東京支部の活動が、以前のような活気を取り戻せるよう少しでもお役に立つことがあれば、なにより嬉しく思います。定年までの一年間という期限付きで引き受けましたが、来年任期満了でめでたく引退できるよう、次世代の方々が東京支部を盛り上げてくださるようお願いしています。とりあえず老体に鞭打って一年間はがんばります。どうぞよろしく願いいたします。

第2回支部総会のお知らせ

下記のとおり、第2回東京支部総会を開催する運びとなりました。また、支部総会に先立ち、長らく東京支部を牽引して下さった若杉隆志さんにご講演いただくことになりました。たくさんのご参加、お待ちしております。

- ・日時: 2014年7月6日(日) 14:00~17:00 *終了後、懇親会を予定しています。
- ・会場: 筑波大学東京キャンパス文京校舎321号室(丸ノ内線茗荷谷駅下車「出口1」徒歩2分程度)
- ・スケジュール:
 - 14:00~15:00 講演: 図書館のサポーター: つづき図書館ファン倶楽部
講師: 若杉隆志さん
参考: <http://libraryfun.net/tsuzuki/>
 - 15:00~15:15 休憩
 - 15:15~17:00 東京支部総会
 - 17:00~ 懇親会

*支部総会の議題:

2013/2014 活動報告, 2013/2014 決算, 2014/2015 予算, 2014/2015 支部委員会の体制, その他

*当日参加も可能ですが、できるだけ事前に参加申し込みをお願いいたします。

*申込先: tokyo@daitoken.com (大学図書館問題研究会東京支部)

支部委員へのお誘い

次期(2014年7月1日から2015年6月30日まで)の支部委員を募集します。支部例会の企画や支部報の編集など、一緒に支部を盛り上げませんか?

ご興味をお持ちの方は、2014年6月30日(月)までに下記までご連絡ください。

*連絡先: tokyo@daitoken.com (大学図書館問題研究会東京支部)

支部例会のお知らせ

2012年に放送されたNHKラジオ「江戸庶民のカルチャー事情」の講師を務められた綿抜豊昭先生をお迎えして、下記のとおり、東京支部例会を開催いたします。大図研会員以外の方もご参加いただけますので、お誘い合わせのうえ、ぜひお越し下さい。

- ・日時：2014年6月8日(日)15:00～17:00 *終了後、懇親会を予定しています。
- ・会場：筑波大学東京キャンパス文京校舎118講義室(丸ノ内線茗荷谷駅下車「出口1」徒歩2分程度)
- ・テーマ：江戸の読書事情
- ・講師：綿抜豊昭先生(筑波大学図書館情報メディア系)
- ・参考：綿抜豊昭著『江戸庶民のカルチャー事情』NHK出版, 2012.1

*当日参加も可能ですが、できるだけ事前に参加申し込みをお願いいたします。

申込先: tokyo@daitoken.com (大学図書館問題研究会東京支部)

関東五支部合同例会のお知らせ

関東五支部合同例会として、「海を巡る知との出会いの場」をコンセプトとしてリニューアルされた東京海洋大学品川キャンパス図書館の見学会を行うこととなりました。たくさんのご参加お待ちしております。

- ・日時：2014年6月21日(土)15:30～17:00 *終了後、懇親会を予定しています。
- ・見学先：東京海洋大学品川キャンパス図書館
 - *東京海洋大学品川キャンパスへのアクセス
<http://www.kaiyodai.ac.jp/info/access/access.html>
 - *建物配置図(品川キャンパス)
<http://www.kaiyodai.ac.jp/info/37/15269.html> (25番の建物)
- ・集合場所と時間：15時にJR/京浜急行品川駅トライアングルクロック前
 - *品川駅で担当がお待ちしておりますので、迷子になりそうな方は、品川駅集合をお勧めします。
 - *あるいは15時半に、図書館前までお越し下さい。
 - *品川駅構内図
<https://www.jreast.co.jp/estation/stations/788.html>
- ・担当：上村順一(東京海洋大学学術情報課)

*当日参加も可能ですが、できるだけ事前に、見学会への参加および懇親会への参加の有無をお知らせ下さい。

申込先: tokyo@daitoken.com (大学図書館問題研究会東京支部)

全国大会へのお誘い

今年は山形大学小白川キャンパスにて、8月23日(土)から25日(月)にかけて開催されます。
現在、研究発表を募集中(締め切りは、5月30日)です。詳しくは、下記をご参照ください。

*大学図書館問題研究会第45回全国大会(山形)

<https://sites.google.com/site/dtk2014yamagata/>

第1回東京支部委員会記録

日時:2014年2月18日(火) 19:10~20:20

会場:九段生涯学習館 第3集会室

出席:野村,上村,小野,高池,呑海,松原,米倉(オブザーバー:大田原,西脇)

記録:野村

議事内容:

(1)役割分担について

・全国委員について

会員総会で菅原さん(一橋大)が選任されている。

・事務局長について

事務局が存在せず、また考えられる業務内容から判断すると、事務局長の設置は不要ではないか。

→事務局長は置かないこととした。

・財政・組織担当について

会費の徴収を、支部が担当するのか常任に委任するのかで、役割が変わってくる。常任に委任するのであれば、両者は同じ枠組にする必要は無いのでは。

→会費の徴収は今後も常任に委任することとし、財政担当と組織担当は分けることとした。

○それ以外の役割分担について

・編集担当について

-支部報を復活するのであれば、編集担当は必要。

-「全会員への唯一の連絡手段であること」「書く機会を提供する場であること」等、支部報には意義がある。

-不定期刊でも良いので、支部報は復活させたほうが良い。発行頻度の調整やメール便等の活用で省力化・経費抑制を図れば継続は可能。→支部報の発行を復活する。それに伴い編集担当を置く。

・企画担当について

担当を置くのであれば、一人では負担が大きい。例えば年間を通して全体を管理するのであれば、1回毎の企画は難しいのでは。→企画担当を設置し、複数人で役割を担って負担を分散させる形を取ることにした。

以上の結果に基づいて各担当を決定し、下記の通り役割分担を行った。(敬称略)

副支部長=高池, 財政=米倉, 小野, 組織=上村, 小野, 広報=松原, 小野, 編集=呑海, 上村, 松原

企画=呑海, 上村, 松原

(2)今後の展開について

・支部の企画について

関東五支部合同例会については企画が担当する。また、支部例会については企画担当が案を考える。

・組織、財政について

支部の会員数は114名。財政について残高がおよそ50万円であることが報告された。

今後の支部報等の個別発送化を視野に入れ、組織担当が支部会員の住所確認を行うこととした。

・会費の徴収等について

会費の徴収、支部還元金については、引き続き常任委員に委任する。

支部費の徴収は、当年度は行わない。

・出版物の在庫について

東京支部の刊行物以外の在庫(大図研シリーズ等)は、出版部でも在庫があることから支部で保管する必要性は薄く、会員への頒布、出版部への返還等を行い整理する必要がある。今後、なるべく早めに対応を決定したい。

・支部委員会の定例化について

定例化することとした。

次回支部委員会

・3月24日(月) 19:00～ 九段生涯学習館 第3集会室

第2回東京支部委員会記録

開催日時:2014年3月24日(月)19:00～21:00

開催場所:九段生涯学習館 第3集会室

出席者:上村,高池,呑海,松原,米倉(欠席者:野村,小野)

記録:高池

配布資料: ①大図研東京支部 2013/14年度第1回支部委員会記録

②広報手段の検討

議事

1. 報告事項

企画:関東五支部合同例会について、東京支部から提案した企画とすることとなった。時期は6,7月の日曜日を予定。

2. 審議事項

(1) 前回委員会記録の確認

配布資料①に基づき、第1回支部委員会記録を確認し、承認を得た。

(2) 支部委員会記録について

支部委員会記録の確認方法について、以下のとおり討議を行った。

- ・支部委員会記録は副支部長が原則担当する。
- ・記録案はメールで各委員に確認した上、確定し、合わせて協議事項を確認する。
- ・支部委員会記録の確定版は、クラウドサービスを利用して保存する。保存場所については今後、検討する。

(3) 大図研刊行物在庫の件

- ・分量を確認の上,とりあえず呑海委員が引き取る。
- ・整理後,希望する支部会員へ寄贈する。
- ・寄贈後の残部については,東京支部刊行物は当分の間,必要部数を保存することとし,デジタル化も検討する。東京支部刊行物以外は廃棄する。

(4) 広報手段の検討

松原委員が広報手段について報告し,以下の議論があった。

- ・東京支部ウェブサイトについては東京支部ページ(<http://www.daitoken.com/branch/tokyo.html>)に構築する。
- ・東京支部のメーリングリストに登録されているメールアドレスの確認を行う。
- ・支部報で,東京支部メーリングリストへの登録を呼びかける。

(5) 支部報について

- ・4月末に発行・発送を目指す。
- ・A4版で作成する。
- ・4月号の内容は,支部委員会の再立ち上げ,支部委員会記録,支部委員の自己紹介・抱負(200~800文字程度),第2回支部総会の案内,関東五支部合同例会の案内などを予定している。
- ・ロゴは上村委員が担当する。

(6) 東京支部総会の準備

- ・日程は6,7月の日曜で調整する。
- ・支部報4月号に,第2回総会の案内を載せる。

(7) 次回の支部委員会について

2014年4月21日(月)あるいは4月28日(月)の19:00からを予定。

支部メーリングリスト登録について

東京支部では,例会などイベントの情報,会員の交流や情報交換のため,メーリングリスト(d-tokyo)を開設しています。メーリングリストへの登録を希望される方,現在登録しているメールアドレスの変更を希望される方は,以下の内容のメールをお送りください。

メールの宛先: tokyo@daitoken.com

メールの件名: 東京支部 ML の登録依頼

メールの本文: (以下の内容を含んでいれば,形式は自由です)

1. 新規/変更
2. 現在登録しているメールアドレス(新規の方は不要)
3. 登録を希望するメールアドレス
4. お名前
5. ご所属機関

『d-tokyo: 大学図書館問題研究会東京支部報』 第222号, 2014年5月

事務局: 〒156-0045 世田谷区桜上水 4-9-19-102 野村健

東京支部メールアドレス: tokyo@daitoken.com

東京支部委員会編集担当: 上村順一, 呑海沙織, 松原恵